

乾牧場

乾さんは北海道大学を卒業し平成 14 年度に別海町で新規就農をしました。
本来の自然に近い状態で牛を飼いたいと、放牧酪農を選びました。
約 62ha の広い土地を管理しながら、約 60 頭の搾乳牛を飼っています。



乾さんがアースジェネターを始めたきっかけは、『ルーメンの菌叢を安定させることで健康維持に役立て乳房炎対策などになれば』とのことでした。

『アースジェネターを給与し始めてから乳房炎になっても重症化しない、回復が早い』などの効果を感じています。

別海町では一番草の最盛期である 7 月頃、放牧された牛たちは乳量も増え、配合飼料に見向きもしないそうです。それくらい、自然に生えている草は栄養がありおいしいということですね。

ですが、放牧での飼養管理は難しく、牧草は季節や気候によって質や量の違いがあるためエネルギーとタンパク質のバランスも考慮しなくてはなりません。

毎日の乳量や乳質を見ながら、搾乳時に給与する配合飼料などで上手に調節をします。

今後、乾さんの目標は乳飼費を 20%以下に抑えること、分娩間隔を短くすることです。

『アースジェネター給与で、ルーメンの発酵を良くして健康維持に役立て、健康な牛から出る糞を土に還し、元気のある草を収穫するというサイクルを作ることができれば・・・』とのことでした。

目標達成に向けて少しでもお役にたてればと思います！